

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<p>ふるさと甚目寺 ～われら歴史・文化調査隊～ (70時間)</p>											
【ねらい】	<p>○「ふるさと甚目寺」に残る史跡や伝統芸能などにふれることで、甚目寺の歴史の深さや価値を実感し、郷土への愛着を高める。 ○甚目寺の歴史や文化をより深く知ったことを発表会や地域ボランティア体験を通して発信し、ふるさと甚目寺が、自分にとって大切な郷土だということに気付く。</p>										
【構成概念】	<p>Ⅱ 相互性 Ⅲ 有限性 Ⅴ 連携性 Ⅵ 責任性</p>										
【重視する能力・態度】	② 未来像を予測して計画を立てる力	③ 多面的・総合的に考える力	⑥ つながりを尊重する態度	⑦ 進んで参加する態度							
【評価規準】	・甚目寺の歴史や文化を守るために何ができるか考え、計画的に活動の為の準備をすることができる。	・甚目寺の歴史や文化が引き継がれていることを理解し、その様々な視点から関連付けて考え、まとめることができる。	・お互いの考えを尊重し合いながら話し合い活動することができる。また、甚目寺の歴史や文化が今の時代に受け継がれていると感じることができる。	・甚目寺に住む一人として、体験したことを生かして甚目寺のためにできることを考え話し合い、実行に移そうと努力することができる。							
<p>単元名「われら歴史・文化調査隊・イン・京都・奈良」(12時間)</p> <p>【ねらい】 自分たちが立てた京都分散計画に従い、地域ボランティアの方の説明を聞きながら、京都の町を巡ることを通して京都の歴史に関心をもち、ふるさとを大切に思う気持ちに気づく。</p> <p>【学習活動】 ①甚目寺と京都・奈良を比較しよう。(2時間) ・京都・奈良と甚目寺の共通点を知り、京都・奈良の町に興味を持つ。 ・京都・奈良を守っている存在に気づき、ふるさとを大切に思う気持ちを考える。 ②見学したい場所を決め、調べよう(5時間) ・京都にはどのような歴史的遺産や文化的遺産があるのかを知り、訪れたい場所を決定する。 ・インターネットや、本、パンフレットなどを使って、訪問先について調べ、見学先の周り方を話し合う。 ③京都分散で行くところを発表しよう。(1時間) ・グループで行き先を保護者や友達につたえる。 ④京都、奈良を参考に甚目寺の遺産を守るためにはどうすればいいか考えよう。(2時間) ・京都・奈良と甚目寺の違いに気づく。 ・甚目寺の遺産を守るためにどうすればいいか考え話し合う。 ⑤学生ボランティアにお礼の手紙を書こう(1時間) ・お世話になった方々にお礼の手紙を書いて送る。</p> <p>【地域人材・関係機関】 ○京都学生ボランティアガイド</p>			<p>単元名「見て、聞いて、触れて、甚目寺① ～甚目寺の歴史・文化を知ろう～」(15時間)</p> <p>【ねらい】 自分たちが住んでいる地域にまつわる歴史的、文化的遺産の存在を知ることにより、地域の歴史に興味をもち、さらに深く調べようとする意欲を高める。</p> <p>【学習活動】 ①甚目寺の歴史・文化について学ぼう(5時間) ・甚目寺地域の歴史的、文化的遺産について浅井先生の講義を聞き概要を知る。 ・源氏節やハンセン病についての出前授業を聞く。 ②テーマを決めて、より深く調べよう(3時間) ・民俗資料館や、甚目寺観音、萱津神社などに出向いて、興味をもったことについて、調べ学習を進める。 ③調べたことをまとめよう(3時間) ・調べたことを、ノートなどにまとめ、今後の学習の資料にする。 ④まとめたことの情報交換をしよう(4時間) ・自分が興味をもった内容について友達に発信したり、友達の情報を聞いたり情報交換をする。 ・調べた情報をテーマ別グループ学習に生かす。</p> <p>【地域人材・関係機関】 ○あま市教育委員会 ○甚目寺歴史民俗資料館 ○美和歴史民俗資料館 ○もくもく座(源氏節) ○ふれあい人権センター ○萱津神社 ○法華院 ○甚目寺観音 ○円周寺住職 ○法性寺 ○大徳院</p>			<p>単元名「見て、聞いて、触れて、甚目寺② ～甚目寺の歴史・文化をまとめよう～」(28時間)</p> <p>【ねらい】 「ふるさと甚目寺」に残る史跡や伝統芸能などにふれ、甚目寺の歴史の深さや価値を実感し、郷土への愛着を高める。</p> <p>【学習活動】 ①調べたことをもとにテーマを設定しよう(2時間) ・地域の歴史について、調べたことをもとに学習テーマを設定する。 ②発表の方法を考えて、準備しよう(18時間) ・同じテーマをもつグループで、情報を整理・活用し、相手によく伝えるようなまとめ方・発表の方法を考える。 ・写真・図・スライドなどの効果的な活用を考える。 ③発表会をしよう(4時間) ・発表会の準備、練習を行い、保護者に向けて調べたことを発表する。 ・発表会のふり返りをする。 ④甚目寺の未来についてできることを考えよう(6時間) ・発表会后、学習のふり返りをする中で、自分たちが住む町のために何ができるか考え話し合う。</p> <p>【地域人材・関係機関】 ○あま市教育委員会 ○能楽師(井上松次郎様) ○甚目寺歴史民俗資料館 ○美和歴史民俗資料館 ○もくもく座(源氏節) ○ふれあい人権センター ○萱津神社 ○法華院 ○甚目寺観音 ○円周寺住職 ○法性寺 ○大徳院</p>			<p>単元名「われら甚目寺ボランティア隊！」(15時間)</p> <p>【ねらい】 地域に伝わる伝統行事への参加体験を通して、「ふるさと甚目寺」のよさを再確認し、そこに住む一人としての自覚と誇りを高めるとともに、ふるさとを大切に思う気持ちを育てる。</p> <p>【学習活動】 ①地域の行事を知り、詳しく調べよう(3時間) ・甚目寺観音の節分や初観音の行事について詳しく調べ、自分たちがどのような形で参加出来るか考え、計画を立てる。(地域貢献) ②「ふるさと甚目寺」でまとめたことを発信しよう(10時間) ・「ふるさと甚目寺」について調べてきたことを地域や地域外に発信する方法を考える。 ・甚目寺観音や行事について、特に自分が地域や地域外に発信したいことを、分かりやすくまとめる。 ・保護者に発信した内容をポスターとしてまとめ直し、庁舎や公民館など甚目寺の主な施設の協力を得て発信する。 ③「あま市ものしり検定」に挑戦しよう(2時間) ・あま市ものしり検定についての講義を聞く。</p> <p>【地域人材・関係機関】 ○甚目寺歴史民俗資料館 ○美和歴史民俗資料館 ○萱津神社 ○法華院 ○円周寺 ○甚目寺観音 ○あま庁舎 ○あま市教育委員会</p>		